



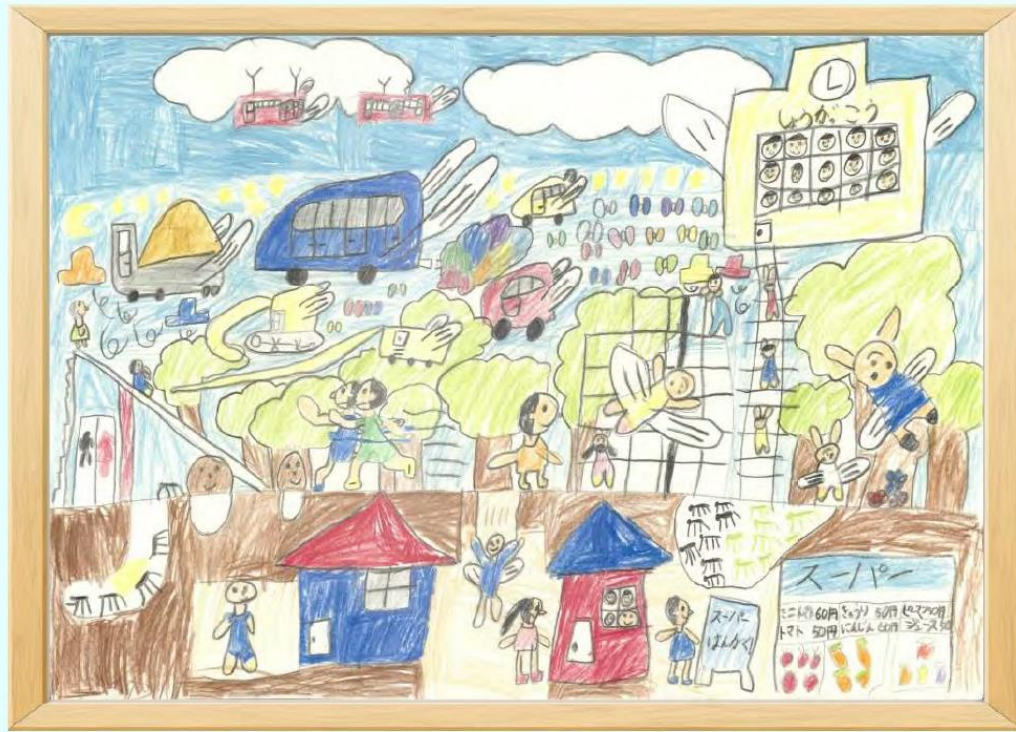
第 2 回検討会資料 ＜資料編＞

【 目 次 】

● 「未来の東京」戦略ビジョン（東京都）	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
● 築地川アメニティ整備構想（中央区）	・・・・・・・・・・・・・・・・	6
● 銀座地区外周の緑のプロムナード化に向けた検討調査（中央区）	・・・・・・	8
● 中央区首都高速道路地下化等都市基盤整備基金の創設（中央区）	・・・・・・	9
● ハザードマップ	・・・・・・・・・・・・・・・・	10
● 高架下の通行可能箇所 及び 縦動線	・・・・・・・・・・・・・・・・	11
● 評価項目と第 1 回検討会の意見ならびに上位計画との関係	・・・・・・	12
● 高架施設における国内外の類似事例概要	・・・・・・・・・・・・・・・・	15
● 次世代型モビリティイメージ	・・・・・・・・・・・・・・・・	23

令和 2（2020）年 5 月 2 2 日（金）

「未来の東京」戦略ビジョン（東京都）



「未来の東京」戦略ビジョン 令和元（2019）年12月 東京都

- 2040年代の東京の姿「**ビジョン**」を目指し、2030年に向けた「**戦略**」と「**推進プロジェクト**」の実行を通じて、「**3つのシティ**」が進化し、「**成長**」と「**成熟**」が両立した未来の東京を実現していく。

セーフシティ

ダイバーシティ

スマートシティ

実現

2030年に向けた「戦略」

「ビジョン」の実現に向け、2030年に向けて取り組むべき20の戦略と政策目標を提示

戦略実行のための「推進プロジェクト」

戦略実行のために、約120の「推進プロジェクト」を組成

目指す2040年代の東京の姿「ビジョン」

おおむね四半世紀先である2040年代を念頭に、我々が目指す「未来の東京」の姿として20のビジョンを提示

30

人が輝く東京

ビジョン06 多様性

様々な人が共に暮らし、多様性に富んだ東京

目指す2040年代の東京の姿

- ✓ 性別、障害、国籍などに関係なく、一人ひとりが、自分らしくいきいきと活躍できる、**多様性に富んだ真のダイバーシティ都市**になっている
- ✓ 言語や宗教、文化、生活ルールなどが異なる外国人と日本人が隣り合って仲良く暮らす、**世界で最も外国人が暮らしやすいまち**となっている
- ✓ **日本と外国の子供が互いの価値観を理解し合い、共に学ぶ**ことで、社会性や想像力に溢れた人材が生まれている
- ✓ 東京の大学で専門知識を学んだ**外国人留学生がビジネスや技術開発の第一線で活躍**している
- ✓ ソフト・ハード両面で**質の高いバリアフリー環境が整い**、障害者をはじめ、誰もが安心・快適に暮らし、希望に応じた働き方ができている



安全安心な東京

ビジョン08 防災

災害の脅威から都民を守る強靱で美しい東京

目指す2040年代の東京の姿

- ✓ 地震や台風など、自然の脅威に対して、最先端技術の活用や都市施設の整備をはじめ、**ハード・ソフトの重層的な備えにより**、都民の生命が守られ、**世界一安全安心な都市**が実現
- ✓ 東京のまちから**電柱が姿を消す**とともに、木造住宅密集地域は東京ならではの路地の風情と雰囲気を生かしつつ、安全な街並みとして再生
- ✓ 東京は、今までに経験のない台風や豪雨に対しても、都民の生命と安全が確保され、**犠牲者を伝える災害ニュースが流れない**



（激甚化する豪雨災害や、首都直下地震等に万全の備えを期す）

- 我が国は有史以来、地震や台風など数多くの自然災害に見舞われてきた。東京は、政治・経済の機能が集中する国家の中核であるが故に、その機能が失われた場合の影響は計り知れない。このため、台風等に備え、河川の護岸や、氾濫を防止する調節池の整備、下水道の貯留施設等の整備に取り組み、災害の度にその機能を強化するなど、水害に強いまちを永々と築き上げてきた。

46



安全安心な東京

ビジョン09 暮らしの安心

犯罪、事故、火災への対処、病気への備えなど、暮らしの安心が守られた東京

目指す2040年代の東京の姿

- ✓ **AI・ICT**など先端技術の活用により、犯罪を未然に防ぎ、テロや凶悪犯罪、サイバー犯罪等の脅威から、都民や東京を訪れる人々を守る都市となっている
- ✓ ICTの駆使や、行政・企業・地域コミュニティなど多様な主体の連携により、**地域における身近な犯罪や交通事故、火災等の脅威は大幅に改善**、誰もが安全安心に暮らしている
- ✓ 大学病院の集積など、東京の強みや特性を活かし、**誰もが必要に応じて質の高い医療を受けられる安心な環境**が整備されている
- ✓ 東京は安全安心であるという世界共通認識のもと、**東京に対する信頼（トラスト）**が更に高まり、世界中から人が集う都市となっている



安全安心な東京

ビジョン11 まちづくり

高度な都市機能を維持・更新し、人が集い、憩う東京

目指す2040年代の東京の姿

- ✓ 都心やベイエリア等、都内各地で次々と都市機能の更新が行われ、**常に最新の都市に生まれ変わる**とともに、人が集い、憩う、便利で快適な都市となっている
- ✓ **都市インフラの長寿命化や更新**等が最新技術を活用して計画的に行われており、**高い安全性を備えた東京のインフラ**は、巨大都市の経済活動を24時間365日支え続けている
- ✓ **集約型の地域づくりへの転換**が進む地域では、**駅周辺で働き暮らせるまち**になっている
- ✓ まちなかに点在する**空き家**などは、店舗やコミュニティスペース等、**地域のニーズに合わせて有効に活用**されている



（東京のまちは、これからも止まることなく進化を続ける）

○江戸時代から現代まで続く東京の都市づくりは、明暦の大火、関東大震災や戦災などにより、幾度も壊滅的な状態に陥り、その度に先人たちが復興を果たしてきた。都市復興の機会を捉えて土地利用の見直しや道路整備、市街地開発等が行われ、都市の骨格が築かれてきた。

安全安心な東京

ビジョン10 交通ネットワーク

最高の交通ネットワークが構築された便利で快適な東京

目指す2040年代の東京の姿

- ✓ 世界最高の**道路と鉄道のネットワークが構築され、人やモノの流れが最適化**されている。満員電車は過去のものとなり、まちなかでは、自動運転によるスマートモビリティが往来する中で、**人々が安全かつ自由にまち歩きを楽しむ**
- ✓ リニア中央新幹線の開通により、他圏域との劇的な時間短縮が実現し、**東京が国内と世界の多様な人材や先端研究機関等とをつなぐゲートウェイ**となっている
- ✓ 首都圏空港は旺盛な航空需要に十分対応している。羽田空港では、環境に配慮しながら、処理能力が拡大し、**ビジネスジェットの発着枠も十分確保**できている



（世界最大の都市圏を支える交通インフラ）

○東京は、関東大震災や戦災からの復興の過程で、都心部への人口・産業の集中や市街地の拡大が進み、当時整備されたインフラは、今日の東京の基礎となっている。また、高度経済成長期につくられた首都高速道路をはじめ、高密度で正確な鉄道ネットワーク、三環状道路や羽田空港などの交通インフラにより、利便性が高く、豊かで活力のある都市となった。

世界をリードする東京

ビジョン12 スマート東京

デジタルの力で東京のポテンシャルを引き出し、都民が質の高い生活を送る「スマート東京」（東京版Society 5.0）

目指す2040年代の東京の姿

- ✓ **都市全体がスマート化**され、全てのモノがIoTでつながり、自動運転車・空飛ぶクルマ、遠隔医療、キャッシュレスなど、**都民生活に広く最先端技術が浸透し、世界で最も便利で生活満足度の高い都市に**
- ✓ 高速モバイルネットワークが東京2020大会のレガシーとして発展し、**21世紀の基幹的公共インフラである高速通信網の分野で東京が世界をリード**
- ✓ 都庁、国の機関、都内全区市町村は、**「完全デジタルガバナメント」**となり、行政手続は自宅からオンラインで、ワンストップで完了
- ✓ 東京の**世界的な信頼**を後盾に、**「21世紀の石油」であるデータが集まる「世界のデータセンター」**となり、東京発の国際標準やデータビジネスが多数誕生





美しい東京

ビジョン16 水と緑

水と緑を一層豊かにし、ゆとりと潤いのある東京

目指す2040年代の東京の姿

- ✓ **玉川上水**や、河川等の**清流が復活**し、浄化や自然環境の改善が進んだ**外濠では蛍が舞い**、江戸の昔ながらに再生された美しい水と緑が東京を代表するシーンとなっている
- ✓ **日本橋付近**では、**首都高速道路の地下化**により**水辺に顔を向けた街並み**となり、豊かな水と緑を楽しむ人々が集い、活発な舟運と相まって、賑わいと憩いの場となっている
- ✓ **多摩・島しょ地域**では、豊かで美しい水と緑に囲まれた**快適な居住環境**が保たれている。**固有の生態系を有する自然**が東京の財産として後世まで引き継がれるよう、手を入れて大切に守られており、親しみ深い地域となっている



美しい東京

ビジョン17 環境都市

ゼロエミッション東京

目指す2040年代の東京の姿

- ✓ 2050年までに、都内のCO₂排出量は**実質ゼロを実現し、都市活動に伴う国内外のCO₂削減にも大きく貢献**
- ✓ **再生可能エネルギーを基幹電源としたゼロエミッション住宅・事業所、ZEVの普及、CO₂を回収・利用・貯留する新技術などイノベーションが発展**
- ✓ ライフスタイルの転換やイノベーションにより、プラスチック等の3Rや食品ロス削減等が進み、製造・流通・廃棄段階でCO₂排出量実質ゼロに貢献する**持続可能な資源利用が実現**
- ✓ 気候変動への対処や適応力の強化により、豪雨や猛暑の影響は軽減されている。また、**東京の美しい水や緑、そして空気は将来世代に引き継がれている**
- ✓ **脱炭素を実現したサステナブルな東京**は、世界中の人々や企業・投資を惹きつける都市となっている



戦略9 都市の機能をさらに高める戦略

戦略9
都市機能

東京の活動を支える**幹線道路や公共交通ネットワーク、空港・港湾・物流機能の更なる強化**とともに、**安全な道路空間確保**など、人の視点からの取組を進める。

大都市を支える幹線道路ネットワークを築き上げる

- ・ 高速道路、骨格幹線道路などの大動脈の完成に向けた道路整備や、既存道路ネットワークの改良、連続立体交差事業による踏切除却など、大都市東京の活動を支える道路網構築を推進する。

安全で快適な道路空間をつくり出す

- ・ 生活に密着した道路での安全で快適な移動の実現に向け、交差点の改良による渋滞解消や自転車通行空間の整備、道路の面的なバリアフリー化を進める。

公共交通のネットワークの更なる充実を進める

- ・ 国際競争力強化、多摩地域の活力・魅力向上、快適通勤の実現などに資する鉄道ネットワークの整備・充実等を推進するとともに、バスやタクシー、デマンド交通などを組み合わせ、駅等を中心に誰もが移動しやすい交通環境の充実を図る。

空港・港湾・物流機能を強化し、世界と競う

- ・ 国内外の往来の要となる羽田空港と東京港の機能強化、ビジネスジェットの受入れ、物流の効率化により、人やモノの流れをスムーズにする。

推進プロジェクト

移動の速達性を高めるミッシングリンク解消プロジェクト	公共交通ネットワークの更なる充実
誰もが使いやすいスムーズな道路網形成プロジェクト	都市間競争に打ち勝つ空の港・海の港プロジェクト
身近で快適な道路空間形成プロジェクト	モノの流れ最適化プロジェクト

都内各地で市街地の更新を通じて、オープンスペースの緑や水辺の充実など、**人が集まり、憩える空間の創出を進めるとともに、質の高い多様な都市機能の集積を促進し、最先端技術の実装等、都市のアップデートを進め、最新の都市に進化させる**。都市インフラの**長寿化や更新を計画的に進めることにより、世界に誇れる魅力的な都市をつくり上げる**。

人の目線に立って、人が集い、憩うまちづくりを進める

- ・ 道路や駅周辺を、車中心から人を中心とした空間に転換することで、**ゆとりや賑わいを生み出し、人が歩いて楽しい、歩きたくなる（ウォーカブルな）まちづくりを進める**。

地域の個性やポテンシャルを伸ばし、魅力と活力溢れる拠点をつくる

- ・ 世界や日本をリードする国際金融等の高度なビジネス機能を集積させることと合わせ、芸術・文化をはじめとした地域の個性やポテンシャルを生かす多様な機能を取り込み、先端技術を導入しながら、世界から人が集まり、交流する、魅力と活力溢れる拠点を形成していく。
- ・ 各地域の特性を生かし、利便性と持続性が両立した市街地形成や、先端技術を活用した地域の活力を生み出すまちづくりを進める。

高度な都市機能を支えるインフラを健全に維持していく

- ・ 老朽化が進む都市インフラについて、予防保全型の計画的なメンテナンスを行うとともに、都市再生と併せた計画的な更新により、機能を向上させることなどを通じて、高度な都市機能を支えていく。

高度な都市機能を維持・更新し、人が集い、憩う東京

推進プロジェクト

人中心の歩きやすいまちづくりプロジェクト	地域特性に応じたスマートなまちづくりの展開
国際競争力を備えた魅力的な拠点の形成	首都東京を支えるインフラの維持・更新の高度化

「未来の東京」戦略ビジョン（東京都）



戦略9 都市の機能をさらに高める戦略

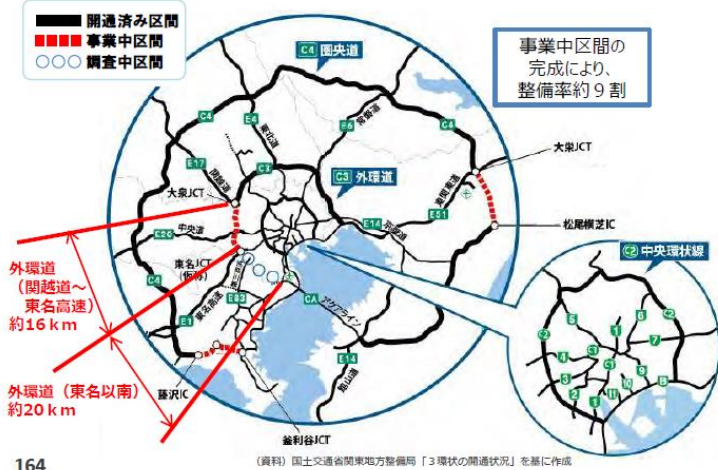
移動の速達性を高めるミッシングリンク解消プロジェクト

三環状道路完成に向け事業推進

○高速道路ネットワークの完成に向け、現在未整備となっている区間の事業化などを推進

- ・外環道の関越道～東名高速間の早期開通、圏央道の早期全線開通及び4車線化に向けた取組を推進
- ・外環道の東名高速～湾岸道路間（東名以南）の早期事業化に向けて、国や関係機関と取組を推進
- ・日本橋周辺の首都高速道路の地下化や首都高速都心環状線の大規模更新、その周辺のまちづくりの動きを捉え、高速晴海線Ⅱ期の早期事業化に向けて国等と連携した取組を推進
- ・広域的な交流、連携を促す路線（第二東京湾岸道路等）について、計画具体化に向けて国などに働き掛けを実施

＜三環状道路の整備を推進＞



＜首都高速都心環状線の更新と高速晴海線Ⅱ期の整備を推進＞



戦略9
都市機能

戦略9 都市の機能をさらに高める戦略

○都心と臨海地域とを結ぶBRTの運行を開始するとともに、東京駅・銀座ルートの新設、東京国際クルースターミナル及び東京ビッグサイト方面への乗り入れに向けた検討を推進

○地域の特性に応じた総合的・効率的な地域公共交通ネットワークの形成を促進するとともに、最先端技術を活用し、誰もが移動しやすい利便性の高い都市を実現

- ・鉄道ネットワークを最大限生かすとともに、バスやタクシー、デマンド交通、自転車などの交通モードと最先端技術の組合せ等を促進し、駅等を中心とした誰もが移動しやすい交通環境の充実を図る
- ・デマンド交通の実証実験を実施する区町村を支援する等、導入を促進

○鉄道利用者が安全かつ自由に、快適に移動できるよう、ホームドアの整備やバリアフリールートの複数化・乗換ルートのバリアフリー化の促進、案内サインの統一化の取組などを広く展開

○駅とまちが一体となった便利で賑わいのある交通結節点を創出

- ・有楽町や飯田橋など周辺開発が見込まれる駅において、利用者が使いやすい鉄道施設の充実を図るとともに、駅と一体的となった創造的なデザインの広場やサンクンガーデン、歩行者用のデッキなどの整備を誘導

- ・複数の都市開発による共同貢献スキームや、様々な都市開発手法を複合的に活用する新しい仕組みをつくり、都として主導的な役割を果たしていく
- ・モバイルツールやデジタルサイネージを活用し、容易に移動できる環境を充実

＜駅とまちが一体となった都市のイメージ＞



170

＜駅まち一体開発の先進事例＞



＜BRT運行ルート＞



＜誰もが移動しやすい利便性の高い都市＞



戦略9
都市機能

人中心の歩きやすいまちづくりプロジェクト

賑わいに溢れ歩きたくなるまちの実現

○道路空間や駅周辺のリメイクにあたり、「車から人へ」カ点を移し、人がまち歩きをしやすく回遊性を高める取組を推進

○ターミナル駅周辺では拠点再編に合わせた複合的な施策を展開

- ・道路空間上空を活用した駅前広場整備や、地域特性に応じた駐車施設整備の誘導などにより、道路空間の歩行者優先への転換などを推進
- ・新宿グランドターミナルの再編を進めるとともに、再編を契機とした新宿駅周辺地区のまちづくりに着手
- ・2027年のリニア開業等に合わせて、国道15号上空デッキなど品川駅周辺の基盤整備を推進

○道路や公園等の公共的な空間を活用した賑わい創出に向け、地域のエリアマネジメント団体や区市と連携した取組を推進

- ・公共的な空間を活用したイベントなどの取組（広報活動等）を推進し、エリアマネジメント団体等による賑わいのあるまちづくりを促進
- ・地域のエリアマネジメント活動に必要な財源確保の仕組み（広告物の活用等）を通じ、民間主体の持続的な活動を促進

○誰もが快適に利用できる公園づくりに向けた取組を推進

- ・バリアフリー化や施設更新を公園単位で集中的に進める取組や、公園の潜在的な魅力を発揮するための民間と連携した取組（Park-PFI）など、「都立公園大改革」を推進

＜新宿グランドターミナルの再編イメージ＞



＜品川駅高輪口の国道15号上空の将来の賑わい空間のイメージ＞



＜丸の内ストリートパークの実施状況＞



＜民間と連携した公園イメージ＞



173

首都東京を支えるインフラの維持・更新の高度化 経済活動を支える都市インフラが24時間機能し続けている

○都市活動を途絶えさせぬよう、計画的な予防保全型のインフラ管理や点検結果を踏まえた長寿命化などを推進

- ・都内の橋梁などの都市インフラの維持・更新について、国等との連携や民間活力を活用して計画的に予防保全型のインフラ管理を推進し、合わせて区町村に対する技術的な支援を強化
- ・道路や河川施設をMMS（モバイル・マッピング・システム）やドローンによって計測し、地下街の情報などと合わせた総合的な3次元データ化とシステムの構築を推進し、日常管理や災害時の対応を効率化・高度化
- ・都営地下鉄のトンネル等地下鉄構造物について長寿命化対策を推進するとともに、三田線の車両更新に合わせ、車両に搭載されている各機器の状態変化や故障情報を収集する車両情報収集システムを構築し、車両故障の予防保全等に活用

＜インフラ管理におけるドローンの活用＞



○まちづくりと連動した都市インフラの更新を促進

- ・日本橋周辺のまちづくりと連携し、首都高の地下化に取り組むとともに、都心環状線築地川区間の大規模更新を促進
- ・東京高速道路（KK線）の既存施設のあり方について、交通機能上の役割や周辺まちづくりの動向を踏まえ検討
- ・まち全体の機能更新と連動し、都市インフラの大規模更新を計画的に実施

○インフラ維持管理やまちづくりなどに必要な高度な技術力を有する職員の育成や、区市町村職員の技術力向上支援などに加え、ICTに精通した人材の確保に向けた取組を推進

＜首都高日本橋区間地下化の対象区間＞



177



戦略10 スマート東京

TOKYO Data Highwayを活用した先端技術で都民のQOLをアップデート

<取組例>

セーフシティ	ダイバーシティ	スマートシティ
<ul style="list-style-type: none"> ■ 災害対策 <ul style="list-style-type: none"> ・河川状況、雨量等の情報ワンストップ化 ・ドローンを活用した被災状況の把握 ・道路冠水・落石等をAIで自動検知 ■ 交通安全 <ul style="list-style-type: none"> ・AIドライブレコーダー等による高齢ドライバー対策 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 教育 <ul style="list-style-type: none"> ・全都立学校・全教室に高速無線LANを整備 ・先端技術の実証研究（AR/VR、遠隔教育等） ■ 医療 <ul style="list-style-type: none"> ・島しょ地域における遠隔診療等の検討 ・最先端技術を活用した救急活動 ■ 働き方 <ul style="list-style-type: none"> ・最先端技術を活用したサテライトオフィス等の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ■ まちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・都市の3Dデジタルマップ化 ■ 環境 <ul style="list-style-type: none"> ・ICT等を活用した暑さ対策の検討や大気環境測定等の推進 ■ 産業 <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業におけるスマート工場の導入 ・スマート農林水産業の推進

データを活用した早期社会実装実現プロジェクト

都内全域で幅広い領域のサービスを展開

○交通、ウェルネス、エネルギーなどの各領域における社会実装やサービス化に向けた実証プロジェクトを強力に推進

<実証プロジェクト例>

自動運転	MaaS	ロボット	デジタル通貨	ウェルネス	エネルギー（電力）
<ul style="list-style-type: none"> SBドライブ株式会社 提供 ■ 都内で最先端の自動走行システムを活用した様々な実証実験 ■ 自動運転技術とその他の先進的なICT等を組み合わせたビジネスモデルプロジェクトの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 複数交通サービスの検索・予約・決済をAPI等で一元化 ■ 広域的なデータ連携によるMaaSの実証 ■ 異分野・都市のリアルタイムデータとの連携、最先端ITデバイスの接続 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 都内複数箇所で実証を行い、ロボットの社会実装モデルをショーケース化 ■ ソーシャルロボットの社会実装に向け、都庁における活用検討・実証実験 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 社会・経済的貢献を行い、SDGsの推進に寄与した都民等にデジタル通貨（ポイント等）を発行 ■ 将来的には、多様なキャッシュレス決済サービスで利用可能なスキームを構築 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 健康・医療・介護分野のデータの活用で、新たなウェルネスソリューションのベストプラクティスを創出する実証実験（認知症対策、デジタルデバイスによる検診等） 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 一般家庭から発電された電力をプラットフォーム上で需要のある企業とマッチング ■ 取引の中で一般家庭の電力データ等取得し、二次利用を促進
交通事故の削減、移動弱者の激減		人手不足の解消、障害者等の雇用	生活利便性の向上	健康寿命の延伸	環境負荷の低減

○AIの特徴や課題を理解した上で、AIを活用した製品・サービスを企画し、市場に売り出せるビジネス人材を育成

戦略13 水と緑溢れる東京戦略

○都市計画公園・緑地等

整備方針を改定し、優先して整備を進める区域を増やすとともに、都や関係区市町が一体となって都市計画公園・緑地の事業化などに集中的に取り組むなど、今後10年間で可能な限り多くの公園・緑地等の創出を目指していく。あわせて都民目線に立った公園の質の向上を推進していく

- ・川辺と一体となった公園や緑地の新たな創出や、浸水被害軽減に資する調節池と併せた一体的な公園整備を推進するなどにより、都内で水と緑のネットワークを形成
- ・木造住宅密集地域の解消に向けた取組や空き家の除却、公園周辺の開発などの機会に合わせ、ポケットパークや連続した緑地の整備を促進
- ・民間との連携などにより、多様な人々を惹きつける洗練された空間を公園に創出
- ・街路樹がグリーンインフラとして多様な機能を発揮できるよう、ICTの活用等により戦略的できめ細やかな管理、整備を推進

<代表的な都市公園>
日比谷公園



<創出空間の有効活用イメージ>
ハイライン（ニューヨーク）



<生産緑地地区の例>



○生産緑地

生産緑地の多くが2022年に指定30年を迎え、宅地への転用が見込まれること等を踏まえ、生産緑地の保全等を推進する

- ・現在の生産緑地を最大限に維持・保全するため、東京型スマート農業や6次産業化などによる「稼ぐ力」を備えた魅力ある農業を実現するとともに、生産緑地の指定30年経過後からは10年ごとに更新が可能な「特定生産緑地制度」の活用を促進
- ・営農継続が困難な生産緑地の買取申出を抑制するため、「東京農業アカデミー」から輩出される新規就農者や規模拡大を目指す意欲ある農業者などを借り手とした「都市農地貸借円滑化法」による貸借を積極的に支援
- ・買取申出された生産緑地については、区市による買取とその後の多面的機能の更なる発揮を促すため、市民農園や農業公園等の整備など農的利用を推進

戦略13 水と緑溢れる東京戦略

まちづくりの機会を捉えた水辺再生プロジェクト

日本橋周辺が水辺を楽しめる空間に生まれ変わる

○首都高速道路の地下化と民間の都市再生を連動させ、日本橋周辺における品格ある良質な都市景観を形成

- ・日本橋周辺のまちづくりと連携し、首都高の地下化を進めることで、歴史・文化を踏まえた日本橋の顔づくり、水辺・沿道環境改善を図っていく（水辺沿いでの歩行環境の充実、歴史的建造物の保全、低層建物と緑・オープンスペースが一体となった賑わい空間の創出等）

○水辺の魅力を生かし、人が楽しめる空間づくりを推進

- ・河川沿いの民間開発と連携して、水辺空間の賑わい創出を誘導していく
- ・地域や民間事業者等と連携して、イベント開催や河川空間の利活用を促していく

○日本橋や臨海部などを結び、水辺の賑わい創出等に資する舟運の活性化を推進

- ・舟運に関する民間事業者の取組拡大や、利用者の利便性向上等に資する環境の整備を推進
- ・築地や晴海など新たな船着場や案内サインの整備等を推進
- ・舟運の拠点である日の出ふ頭において、賑わい創出に向けた再整備を実施し、来訪者数を拡大させることで、更なる舟運活性化を促進

<隅田川テラスを活用したイベントの例>



<舟運の拠点である日の出ふ頭>



<日本橋周辺のまちづくりの状況>



<日本橋周辺の将来イメージ>



(出典) 日本橋一丁目中地区都市計画図説資料